

# 委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の審査や活動を報告します。



中村委員長

田中副委員長

田中委員

森 委員

岩永委員

赤間委員

宮原委員

## 総務財政委員会

### 住民に対する 説明を丁寧

#### ケーブルネットワーク 施設条例の制 定

（条例の内容については4ページに記載）

委員より、11月21日に山田市民センターで住民説明会を開催しているが、住民に対してなぜ有料化にするのかという行政としての説明責任は果たすべきである。

全市拡張し、情報格差を無くしたいという姿勢は分かるが、丁寧に住民への説明をしていくということが自治基本条例の精神である。

本当にケーブルテレビ事業の拡張や有料化を考えているのなら、もう少し誠意を持って対応してもらいたいなど、多くの意見が出されました。

以上のような委員からの意見を受け、執行部より、2月3日（金）と4日（土）の2日間、公民館区ごとに住民説

明会を再度開催する。

住民説明会を開催するにあたっては、広報やケーブルテレビで周知するとともに、公民館長等に地区住民への参加要請を相談するなど、多くの方に参加してもらえような方法で周知したいとの報告がありました。

審査の結果、今後開催される住民説明会の経過を見据えて、委員会としての結論を出す必要があるということ、出席者全員をもって継続審査としました。



# 民生文教委員会

## 市民の立場に立ち 段階的な引き上げを



嶋田委員長 田淵副委員長 山本委員 藤委員  
永水委員 梶原委員 浦田委員 豊委員

### 国民健康保険税条例 の一部を改正

(条例の内容については2ページに記載)

#### 修正の理由

国民健康保険事業会計は、毎年、赤字を計上しながらも、後期高齢者医療制度の開始や国の医療制度改革の不透明感から、税率引き上げを見送り、翌年度から繰り上げ充用するなど、当座をしのいできました。

平成22・23年度の赤字額は2カ年で4億1千万円、前期高齢者交付金の過年度分精算影響額が3億円と合計で7億1千万円の赤字が累積し、24年度以降においても、毎年2億1千万円の赤字が計上される見通しです。

また、滞納額は、4億4千万円となっており、人的配置などを行い、滞納解消策を講じるとともに、特定健康

診査や特定保健指導など健康づくり事業の更なる充実・医療費の抑制が求められています。

国保会計単独で収支バランスをとることが望ましいが、国民健康保険の構造上の問題、市民の所得の状況をみると、不可能であるといわざるをえません。

今回の提案で累積赤字額7億1千万円を一般会計から繰り入れ、計画的に解消することには一定の理解は示すものの、市民の立場に立つ議会として、一度の値上げを行うのではなく、3年間にふりわけ、市民の負担軽減をお願いするものです。

修正案の内容としましては、24年度、25年度にはそれぞれ10%、26年度に5%と引き上げの傾斜を緩めるものです。

審査の結果、全会一致で修正可決しました。

# 産業建設委員会

## 計画的な水害対策を

### 土地の取得について

本案は、鴨生地区水害に伴う調整池造成のために用地を取得するもので、所在地は嘉麻市鴨生字野間、字枝坂に位置し、面積は9026・73平方メートル、取得金額は、3728万円で、契約の相手方は、日本コークス工業株式会社、代理人として新田川不動産株式会社と仮契約を締結しているとの説明がありました。

また、平成3年、平成15年、平成21年に鴨

生地区で発生した水害対策を行うものであるため、全体的な改修計画案の説明も受け、審査を行いました。

その主な改修計画案の内容は、この土地を取得し調整池を新設するほか、調整池をもう1箇所新設する計画や水路拡幅及び堰の改修、飯塚市内の調整池新設など、将来の複雑な災害にも対応できるように計画を立て、実施していきたいとの説明がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。



森委員長 北富副委員長 廣方委員 田上委員  
山倉委員 坂口委員 吉永委員

